

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	露語演習		
英文授業科目名	Intermediate Russian		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斎藤 毅		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tksh.saito@nifty.ne.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>この授業は前年度の「露語第一・第二」の続編の授業です。今年度の月曜7限は、前学期は「露語演習」、後学期は「露語運用演習」となっていますが、実質的に、この2つはセットの授業と考えてください。これら「露語演習」、「露語運用演習」あわせて1年間で、前年度にもちいた教科書、『ロシア語文法への旅』を終わらせることを目標とします。</p> <p>この教科書を1冊マスターすれば、ロシア語の力はかなりついたと思ってよいでしょう。少人数の授業になる分、身につくのも早くなると思います。やる気のある人たちの受講を、ぜひ待っています。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
露語第一・第二

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林） 参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

基本的に昨年度の「露語第一・第二」と同じやり方で授業を進めますが、少人数になる分、受講者の皆さん一人一人の実践練習にウェイトが置かれます。

前学期の「露語演習」では、教科書の第14課から始め、第20課まで進むことを目安とします。また、たまにはロシアの映画を見たり、歌を聴いたりもしたいと思います。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

- 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など) 50%
- 2) 学期末試験またはレポート 50%

#### (b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとこなしている
- 2) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 3) 学習した範囲の単語の意味が分かる

### 【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。  
とくに時間が必要な場合は、事前にメールにてご一報ください。

### 【学生へのメッセージ】

とにかく途中であきらめず、無理をしてでも出席を続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には大切なことです。

### 【その他】